

登録コード	A3594369	開講年度	2026			
授業科目	専攻研究				担当教員	上原 三知
英文授業名	Thesis Research					
単位数	2	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目
					備考	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2022Aカリ, 2021Aカリ, 2020Aカリ, 2019Aカリ					
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				ランドスケープデザインの専門的な知識や研究能力を獲得する。	
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				ランドスケープデザインの地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を獲得する。	
	2026A3編（24A）, 2025A3編（23A）, 2024Aカリ, 2023Aカリ					
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				ランドスケープデザインの専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を獲得する。	
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				ランドスケープデザインの地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に沿った問題解決方法を理解し、その実践に必要な能力を獲得する。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、環境共生					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	前期で立てた研究方法と調査結果の収集、解析を行い、既存の知見と照らし合わせながら、結果について考察して、これらを論文としてまとめます。					
(5)授業計画	研究室の研究活動に積極的に参加して、知識や経験を豊富にしてください。 / アンケートを最後に実施。					
(6)自主学習の指針	ゼミ出席と発表、その達成度により、5段階評価を行う。 初歩的な知識等を習得していれば「水準にある」、応用がきけば「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、独自の視点をもって理解度が深ければ「卓越している」と評価します。					
(7)成績評価の基準	授業で示した初歩的な知識等を習得していれば「水準にある」、応用がきけば「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、独自の視点をもって理解度が深ければ「卓越している」と評価します					
(8)事前事後学習の内容	関連する研究の手法に関して事前に自主学習を行うとともに、発表後は指摘を受けた内容や、参考図書を復習し、実際に自分で実施できるように学習すること。					
(9)テストやレポートの予定	随時、課題を課す。					
(10)成績評価の方法	研究活動に対する態度と取り組み。					
(11)質問、相談への対応および連絡先	上原居室（森林科学棟4F） e-mail：ueharam@shinshu-u.ac.jp					
(12)履修上の注意	TOEIC-IPテストを必ず受験し、英語力を確認すること					
【教科書】	特になし。					
【参考書】	自分が興味あるテーマについて、landscape and urban planningの論文を紹介させる。 翻訳について、上原研のアプリケーションを用いる。					